

「人体と環境にやさしい石けんシャンプー・リンスの提供」

あさひ石鹸工房

岡崎市山網町字嶋沢 30-2

合成洗剤の人体と環境への悪影響を除くために（船瀬俊介氏の講演が契機に）

8年前迄は、商品（シャンプー等）に配合されている化学物質について考えることもなく使用していました。ある機会に、船瀬俊介氏と坂下栄氏の講演を聞き、当時大手洗剤メーカーの社員だった私は、「うそでしょ」と思いました。その後何回か聞いたたびに、「びっくり」することが多く、その後も疑問が広がるばかりでした。

その時、愛知県工業技術センターを訪問しましたところ、私の疑問を丁寧に、解り易く説明し、納得させて下さいました。自分で出来る勉強として、「沈黙の春」で合成界面活性剤の恐ろしさを認識し、「奪われた未来」で合成化学物質の環境ホルモン作用で体内が攪乱されていることを知りました。自然環境問題は色々な面がありますが、私は天然の油脂からつくった石けんが、身体と環境に良い結果をもたらすと思いました。

合洗メーカーを辞めて、関西の石けんシャンプーメーカーの販売に熱意を込めて

多方面の人達と出会い、多くの質問を受け、工業技術センターで教わり、それをユーザーにアドバイスしたり、私自身も感動することばかりでした。石けんシャンプーの使用結果も目を見張るばかりの、良いことの連続でした。

その仕事の中で、ユーザーは、シャンプーについては、冬に濁るとか、沈殿が少し出るとか、リンスについては、きつめが今少し足りないとか、色々の要求を求めてくる事を知り、一つ一つの対応を早くしてゆく為には、自分がメーカーにならなければと思うようになり、又工業技術センターからも協力を得られることが分かり、企業化を目標に置くようになりました。

メーカーとしての道を選択、石けんシャンプー・リンスの自家製造をめざして

石けん製造にあたっては、原料として油脂を使用する鹼化法によるか、脂肪酸の中和法によるか、脂肪酸の組成は何種類を何%に配合するか、どのグレードの脂肪酸を使用するか、製品濃度、泡立ち、洗浄力等の試験、又は他社品の分析をどう参考にするか、リンスの製造にあたっては、有機酸として何をを使うか、増粘剤として適当なもの、夏期の防カビ対策として、添加剤に何をを選ぶか、一つずつ実験をもって、証明し、確かめつつ精力的に進めました。技術のなかった私がここまでやれたのは、工業技術センターや技術アドバイザーとして細かい点までアドバイスをいただいた山本昭二先生による指導のたまものと、感謝し、目を見張るばかりの結果で、感動しております。おかげで「あさひ脂肪酸石けんシャンプー」、「あさひ酸性リンス」各 535ml 入り、の商品が出来上がりました。

良い展望が開けて

少量実験のサンプルを美容院に提供し使用して頂いた結果は、象のような手だった

理容の先生の手が石けんで良くなった。洗う毎に抜毛があったのが、無くなった。美容の先生はパーマのカールが美しくまとまりが良くなる。静電気が起きなくなった。枝毛、切れ毛が無くなり髪に腰が出てきた。など良いことが沢山あり、これらを総称した言葉が「天使の輪は石けんシャンプーで」ということになりました。

確信を得たので、家の一部を改造して「あさひ石けん工房」の看板を掲げました。愛知県健康福祉部医薬安全課の検査もパスして、工業技術センターの担当者の方にも見て頂き、工房を立ち上げる事が出来ました。

今後は、理美容の先生方の使用時の要求点を聞きつつ、改良を重ねてより良い商品に仕上げてゆきたいと思っております。

シャンプーメーカーは数多くありますが、最高級の脂肪酸を原料としている所は、少ないと思います。自信をもって沢山の人に使って頂ける様に、努力し良い商品にしたいと思っております。未だ少量ですが、固定客も増え、商品として確実に回転する様になってきております。また船瀬先生の著者に、とりあげられたので、遠く山形、宮崎からも注文が入る様になってきました。

